

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	利益配当金については3月31日 中間配当金については9月30日(当期は中間配当を実施しておりません。)
1単元の株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
(郵便物送付先)	三菱信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
証券・銘柄コード	7458

<お知らせ>

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
- 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。

ECHO

Vol.16 第29期中間事業報告書
平成15年4月1日～平成15年9月30日



TOP MESSAGE



代表取締役社長 兼最高執行役員
米田 龍佳

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。また、平素は当社グループの事業活動に対し格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび第29期中間期（平成15年4月1日～平成15年9月30日）を経過いたしましたので、「第29期中間事業報告書」をお届け申し上げます。

当社グループは、強力で魅力あるコンテンツの創造とカラオケ事業をはじめとするあらゆる音楽事業を通じたサービスの提供に向け、積極果敢に取り組んでおります。株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第一興商グループ 事業ドメイン

業務用カラオケ事業

業務用カラオケ機器・カラオケソフトの販売及び賃貸、並びに通信カラオケへの音源提供を行っております。

カラオケルーム運営事業

カラオケルーム「ビッグエコー」を国内で193店舗、海外で2店舗展開しており、ルームの運営とともに飲食の提供を行っております。

コンテンツ事業

衛星放送事業では衛星デジタル放送「スカイパーフェクTV」をプラットフォームとし、テレビ2ch、ラジオ100chのサービス、eビジネス事業では主に携帯電話向け着信メロディー配信サービスを行っております。

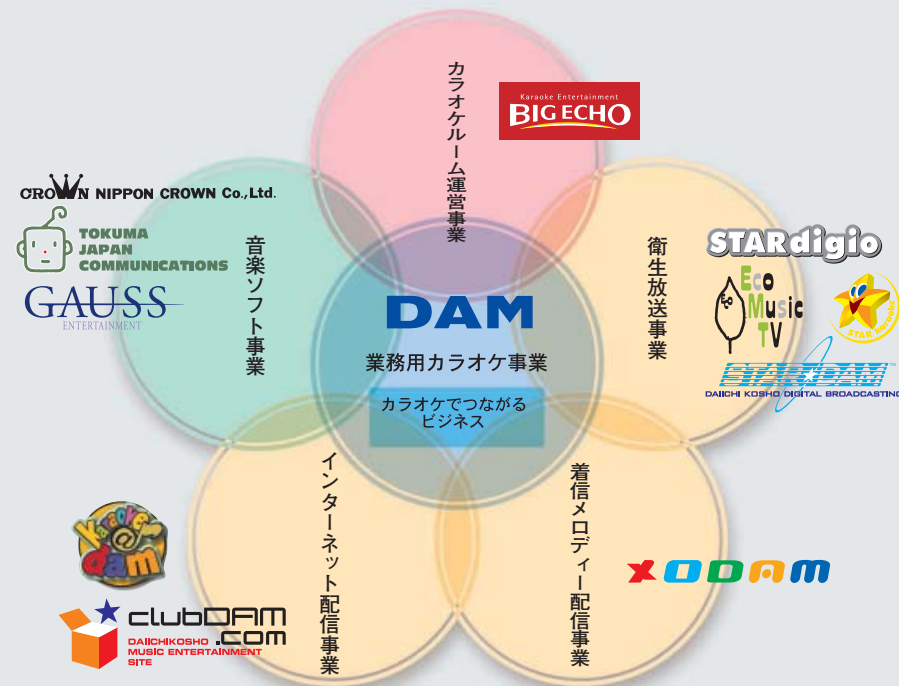
音楽ソフト事業

音楽レコード会社3社及び販売会社1社において音楽、映像ソフトの制作、販売を行っております。

その他の事業

不動産賃貸事業、飲食事業などを行っております。

カラオケを中心とした音楽の楽しさを提供



(平成15年9月30日現在)

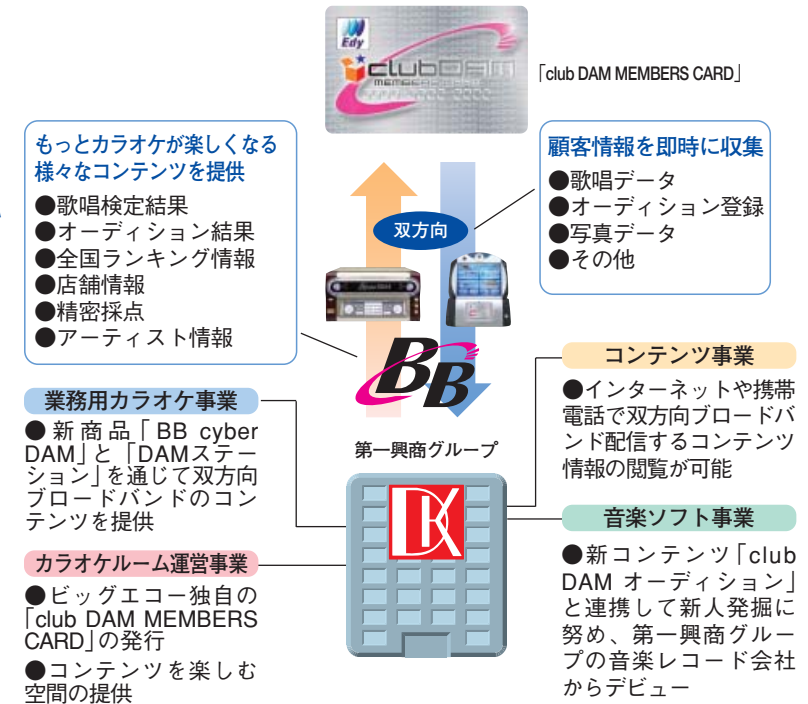
TOPICS

第一興商グループはより一層の 業容拡大と業界の活性化を図るため、 新たなサービスを展開し、 総合音楽エンターテインメント企業を 目指してまいります

平成16年1月以降、会員組織をベースにしたエンドユーザー向けサービス「club DAM MEMBERSHIP」を開始いたします。エンドユーザーには、電子マネー決済機能「Edy」付きの会員カードを発行し、新商品である「BB cyber DAM（ブロードバンドサイバーダム）」と「DAMステーション」との融合によるブロードバンドを活用した双方向のサービスを提供してまいります。

※Edyは、ビットワレット機が運営するプリペイド型電子マネーサービスの名称です。

ブロードバンドを活用した、今までにない双方向のビジネスモデル



業務用カラオケ事業1

「DAMシリーズ」の市場稼働台数は約177,500台に達し、市場シェアは約46%となりました。（平成15年9月現在）10月からは新商品を発売し、新たなサービスの導入により業界の活性化を目指してまいります。

●双方向を可能とした「BB cyber DAM」と「DAMステーション」



BB cyber DAM DAM-G100 平成15年10月発売

- | | |
|-----|---|
| 楽曲数 | ●約50,000曲と業界最多 |
| 映像 | ●歌手本人出演映像を2,200曲以上収録 |
| 音質 | ●生の楽器で演奏した「生音演奏曲」を約5,000曲収録 |
| 機能 | ●歌唱が途切れた時にサポートしてくれる「ガイドボーカルアシスト」機能を新採用 |
| 将来性 | ●DAMステーションと連動して使用することにより、双方向ブロードバンド対応の新コンテンツを提供 |



「club DAM MEMBERS CARD」

DAMステーション 平成16年1月以降市場導入予定

- 機能 ●充電器に装着するとメインのカラオケモニター画面の内容をサブモニターとして表示
- デンモク機能を搭載（歌手本人出演映像や生音演奏曲の検索が可能に）
- 将来性 ●「club DAM MEMBERS CARD」と連携して新コンテンツサービスの提供
- ①ニュース、天気予報などの情報閲覧が可能
 - ②新会員サービス「club DAM MEMBERSHIP」によるサービスを提供（「歌唱検定」「オーディション」等）
 - ③デジタルカメラを搭載し、写真や各種コンテンツのプリントが可能

業務用カラオケ事業2

●あらゆる市場に対応した新商品



DAM-G30
Hyper Karaoke System

DAM-G30
平成15年10月発売

ナイト市場向けのほかにバス・船舶などの移動体、エルダー市場向けモデル

- 外観 ●本体にパワーアンプを内蔵したコンパクトな形
- 楽曲数 ●総楽曲数約18,300曲
- 外国曲は約10,900曲と業界最多(平成15年10月現在)
- 音質 ●邦楽曲を中心に音質を向上
- 弦楽器や吹奏楽器などの「生音演奏曲」を収録



デンモック PM100II-DK
平成15年10月発売

好評であった「デンモック」の機能と利便性を強化

- 機能 ●大型バッテリーで稼働時間を大幅延長
- 耐久性 ●耐衝撃性・耐浸水性を強化
- 操作性 ●タッチパネル操作のペンを標準装備



Party DAM III

DAM-PDIII 平成15年12月発売

主にホテル・宴会場、宿泊施設等の市場向けモデル

- 機能 ●大型液晶モニター搭載で見やすさをアップ
- モニターは開閉式で本体へ収納が可能
- 楽曲数 ●総楽曲数約8,400曲
- 映像 ●動画背景映像対応
- コンテンツ ●採点・ビンゴゲーム・占いなどパーティーを盛り上げるコンテンツを9種類搭載

カラオケルーム運営事業

「ビッグエコー」は、駅前や繁華街を中心に全国で192店舗展開しております。(平成15年10月現在)当社グループは、歌う空間を提供するだけでなく、エンターテインメント性を追求した店舗を目指してまいります。まずは、新商品「BB cyber DAM」、「DAMステーション」の導入と「club DAM MEMBERS CARD」の加入促進を図り、常時接続・双方向ブロードバンド環境で様々なコンテンツサービスを提供してまいります。これにより、カラオケルームへの集客力が高まるほか、今までの室料・飲食収入に加え新たな収入を得ることにより、収益の向上と業界の活性化に努めてまいります。



NEW OPEN

ビッグエコー「横浜関内店」

関内駅前の好立地に展開するビル一棟型店舗。社会人、行楽客、野球ファンなど幅広い客層で賑わっております。

- オープン日：平成15年5月27日
- 住所：神奈川県横浜市中区真砂町4-39
- 電話番号：045-640-6780
- アクセス：JR京浜東北根岸線 関内駅より徒歩1分
- ルーム数：40室



ビッグエコー「川之江店」

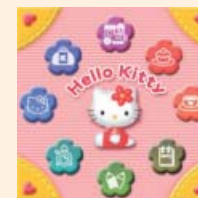
ショッピングセンター内にある郊外ロードサイドタイプ店舗。ショッピングや食事の後にカラオケが楽しめます。

- オープン日：平成15年7月2日
- 住所：愛媛県川之江市妻鳥町1132-5 フジグラン内飲食棟2F
- 電話番号：0896-59-6070
- アクセス：JR予讃線川之江駅・三島川之江インターより車で10分
- ルーム数：19室

コンテンツ事業

当社の運営する着信メロディーサイト「メロDAM」は、ユーザーニーズに合ったサービスを展開しております。平成15年7月からは、サンリオキャラクターと着信メロディーを融合させた「メロDAMサンリオ」とミュージシャンや俳優の声を着信音として配信する「ボイスDAM」を開始し、メロDAMの総会員数は、約503万人となっております。(平成15年10月末現在) また、新たに11月よりコナミ(株)の「プレイステーション2」用カラオケソフト「カラオケレボリューション」への音源提供を開始いたしました。今後は、当社が運営するサイト「clubDAM.com」でパソコンや携帯電話から新コンテンツ(オーディション情報・全国ランキング等)の情報を閲覧可能にし、エンドユーザーと直結した新サービス「club DAM MEMBERSHIP」を推進してまいります。

●新サービス



©1976, 2003 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO. 4110504

メロDAMサンリオ

サンリオの人気キャラクター全4種類のなかから好きなキャラクターを携帯電話の待受画面・カレンダー・スクリーンセーバーなどに交換できるサービスです。また、当社運営の着信メロディーサイト「メロDAM(オマケ付)」で配信される曲に加え、サンリオ関連の曲を着信メロディーとしてダウンロードできます。

- NTTドコモの携帯電話(iモード)向けサービス
- 月額300円で15曲ダウンロード可能

ボイスDAM

人気のミュージシャンや俳優の声を着信音として配信するサービスです。

- NTTドコモの携帯電話(iモード)向けサービス
- 月額300円で10ボイスダウンロード可能

Karaoke Revolution (カラオケレボリューション)

当社音源提供による本格的なカラオケを「プレイステーション2」で楽しむことができます。

- 「プレイステーション2」専用ソフト、コナミ(株)より11月20日発売
- カラオケ予約・採点機能・エコー機能搭載
- 最大48和音の高音質な音源を再生
- インターネット接続にて豊富な楽曲が歌い放題(有料)

音楽ソフト事業

第一興商グループ提供番組「PRO-file~デビューのトビラ~」(テレビ朝日系)から2名のアーティストがデビューいたしました。また、平成15年9月30日付けで、(株)トライエムのインディーズ事業を第一興商で譲り受けるとともに、10月1日付けで同社の全株式を取得し完全子会社といたしました。今後は、インディーズ事業に力を注ぐとともに、「BB cyber DAM」と「DAMステーション」によって配信されるコンテンツ「club DAMオーディション」との連携を図り、新人発掘に努めてまいります。



土屋明子(つちや あきこ)

- 「恋ふ(kou)」で徳間ジャパンコミュニケーションズよりデビュー
- 平成15年10月22日発売
- 作詞/作曲は本人が行い、プロデュースには数々の有名アーティストを手がける「T2ya」を起用



石井智美(いしい とみみ)

- 「ずっとこの場所で」で日本クラウンよりデビュー
- 平成15年12月3日発売
- スノーボードのトップブランド「kissmark」のCMアーティスト
- プロデュースは、人気バンドSOPHIAのメンバー「都啓一」が手掛ける

Column

平成15年10月より革新的な音楽エンターテインメント企業としてのイメージアップを狙った企業CMを制作し、第一興商グループ提供番組などで放映を開始いたしました。今回のCMのコンセプトは「Tuning Future」。“Tune”は「音・音楽」、 “Tuning”は「調律」、 “Future”は「未来」を意味していることから “Tuning Future”には、「音楽事業をコアとしながらも常に新しい未来に照準を合わせ、切り拓いていく」という第一興商の企業コンセプトが込められています。

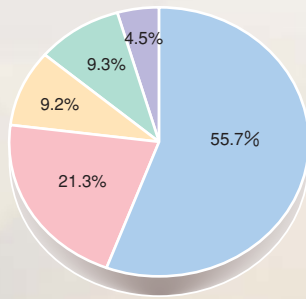
イギリスを始め全世界で活躍するエレクトリック・クラシック女性音楽ユニット「BOND」を起用し、エンターテインメント企業イメージをアピールしてまいります。

【ON AIRプラン】
テレビ朝日系列「PRO-file」/毎週水曜24:51~25:21内で新商品CM「Cyber Stage」篇・企業CM「Top Stage」篇をON AIR中。また全国エリアでのスポットも展開。



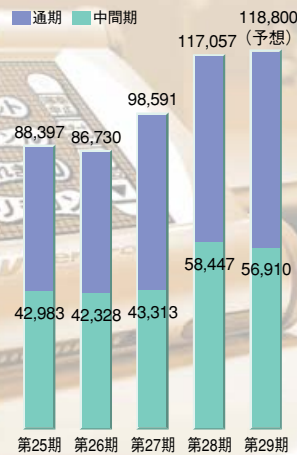
営業の概況 (連結)

連結売上高構成比



連結売上高

(単位：百万円)



当中間期の概況

当中間期のわが国経済は、輸出と設備投資の持ち直しを足掛かりに緩やかながら上向き始め、また、企業業績の改善や株価上昇により市場心理は好転を見せ始めつつあるものの、デフレの長期化や円高加速による景気浮揚の弱さなどまだ予断を許さない状況で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、長引くデフレの影響から商品やサービスの低価格化が激化するなか、ナイト市場^(注1)の経営環境は依然として厳しい状況にあり、一方、カラオケボックスなどデイ市場^(注2)においては稼働ルーム数が前期を底に増加に転じるなど明るい兆しも出てきております。

このような環境のなか当社グループにおきましては、市場でのさらなるシェアアップを目指して主力商品である「ニューサイバーDAM (DAM-G50 II)」と電子目次本「デンモク」を中心に販売及び賃貸の拡大に注力するとともに、カラオケルーム運営事業やコンテンツ事業並びに業界環境の厳しい音楽ソフト事業など、業務用カラオケ事業を核とし、総合音楽ビジネスの確立を目指した積極的な事業展開を進めてまいりました。

以上の結果、当中間期の売上高は、商品販売、カラオケ機器賃貸、情報提供料、カラオケルーム運営など順調に伸長したものの、音楽ソフト事業の売上高の減少から前年同期比2.6%減少の56,910百万円となりましたが、利益面におきましては売上原価の圧縮と販売費及び一般管理費の減少が奏効し営業利益は前年同期比15.4%増加の6,880百万円、経常利益は前年同期比17.1%増加の6,392百万円となりました。一方、特別損失において過年度の役員退職慰労引当金繰入額を一括して計上したため中間純利益は前年同期比39.9%減少の1,398百万円となりました。

(注1) ナイト市場とはバー・スナック等を中心とした市場であります。

(注2) デイ市場とはカラオケボックスを中心とした市場であります。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、景気回復の兆しは窺えるものの、先行きに対する不透明感は依然として強く、個人消費の回復や雇用環境の改善にはなお時間を要するものと思われま。

当業界を取り巻く経営環境も、デイ市場は回復基調にあるもののナイト市場は依然厳しく、市場における二極化はより鮮明になると思われま。

このような環境のもと当社グループは、通信カラオケ市場におけるトップシェアをさらに拡大するため、商品の品質向上や差別化、サービス内容の充実を果敢に進めてまいります。10月にはブロードバンドを本格的に活用した新商品「ブロードバンドサイバーDAM (DAM-G100)」を発売し、当中間期同様、積極的な商品出荷を目指してまいります。また1月以降、顧客の歌った音源や画像を送受信して段位認定やオーディションシステムなど双方向でコンテンツが楽しめる情報端末「DAMステーション」を順次投入し、新しいサービスの充実を図るとともに収益に貢献する事業の提案を行い、これらの早期定着を目指してまいります。カラオケルーム運営事業におきましては、立地を厳選した新規出店を優先テーマとして積極的に推進し、サービス向上による来店客数の増加に努め、収益性と投資効率の向上に取り組んでまいります。衛星放送事業につきましては、業務用サービスの契約増加とコストの低減に努めるとともに、eビジネス事業におきましても、収益拡大のためより効果的かつ集中した販促施策とサービスの拡充を行い利用者数の増加に努めてまいります。一方、音楽ソフト事業におきましては、当社グループのネットワークを活用したアーティストの発掘・育成、プロモーションなどの各種施策を迅速に具体化し収益の向上に努めてまいります。

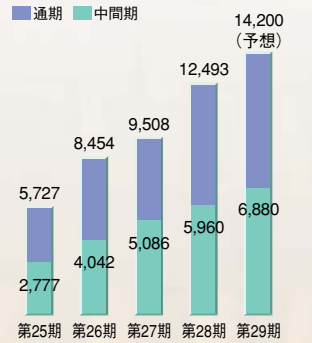
以上の諸施策を実行することにより、通期の業績については売上高1,188億円、経常利益132億円、当期純利益50億円を計画しております。

なお、当社は、平成15年10月31日付けで、公正取引委員会より独占禁止法の規定に違反するものとして勧告を受けましたが、この勧告は当社といたしましては応諾しがたく、審判の場にその判断を委ねることとし、不応諾の旨を公正取引委員会に通知いたしました。

株主様はじめ関係各位にご迷惑とご心配をお掛けいたしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

連結営業利益

(単位：百万円)



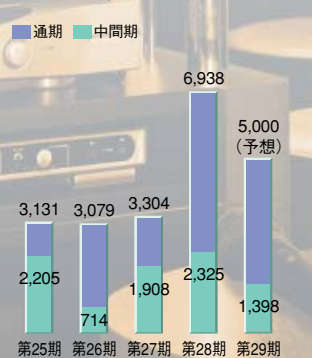
連結経常利益

(単位：百万円)



連結中間(当期)純利益

(単位：百万円)



セグメント別概況

セグメント	業務用カラオケ事業	カラオケルーム運営事業	コンテンツ事業	音楽ソフト事業	その他の事業
売上高 (百万円)	31,674	12,112	5,273	5,306	2,542
営業利益 (百万円)	5,758	1,295	1,028	△ 44	266

事業の種類別セグメントの概況は、以下の通りであります。

業務用カラオケ事業

売上高 **31,674** 百万円 (前年同期比 +7.9%)
 営業利益 **5,758** 百万円 (前年同期比 +17.7%)

当事業におきましては、商品の低価格化が進むなか、前期10月に発売した主力商品「ニューサイバーDAM」が引き続き買替需要を取り込み、併せて電子目次本「デンモク」の好評もDAMの出荷を後押ししたため、出荷台数は前年同期を10%上回るなど堅調に推移いたしました。また、これに呼応して情報提供料収入も稼働台数の増加に伴い順調に伸ばいたしました。一方、カラオケ機器賃貸におきましては、賃貸料金の低下傾向を大幅な賃貸件数の増加で補い賃貸収入も増加いたしました。この結果、当事業の売上高は前年同期比7.9%増加し、営業利益におきましても前年同期比17.7%の増加となりました。



NEW CyberDAM



BB CyberDAM
 新商品 (平成15年10月1日発売)

カラオケルーム運営事業

売上高 **12,112** 百万円 (前年同期比 +8.4%)
 営業利益 **1,295** 百万円 (前年同期比 +86.7%)

当社グループは国内で193店舗、海外で2店舗のカラオケルーム「ビッグエコー」の運営を行っております。当事業におきましては、デイ市場にて明るい兆しが見え始めているなか、既存店売上高が前年同期を上回るなど好調に推移し、また、当中間期は4店舗の新規出店と不採算店1店舗を閉鎖いたしました。この結果、売上高は前年同期比8.4%増加し、営業利益も前年同期比86.7%と大幅な増加となりました。



コンテンツ事業

売上高 **5,273** 百万円 (前年同期比 +4.3%)
 営業利益 **1,028** 百万円 (前年同期比 +36.0%)

当事業におきましては衛星放送事業とeビジネス事業を行っておりますが、衛星放送事業におきましては、民生用サービスの加入者数が依然漸減傾向にあるなかで、業務用サービスの加入件数が堅調に伸ばいたしました。また、eビジネス事業におきましては、携帯電話向け着信メロディーサービスの低価格化や利用者数の飽和感があるなかサービスの拡充を行うとともに、新たにコナミ㈱の「プレイステーション2 (PS2)」用カラオケソフト「カラオケレボリューション」への音源提供を行うなど収益拡大に注力いたしました。この結果、売上高は前年同期比4.3%増加し、営業利益も前年同期比36.0%の増加となりました。



音楽ソフト事業

売上高 **5,306** 百万円 (前年同期比 △49.7%)
 営業利益 **△44** 百万円 (前年同期比 -)

当事業におきましては、依然厳しい経営環境で推移しておりますが、前年同期の売上高に貢献した「千と千尋の神隠し」などのヒット作が当中間期は少なかったため、売上高は前年同期比49.7%の大幅な減少となり、営業費用の圧縮に努めたものの、営業利益は△44百万円と僅かながら赤字となりました。

CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.



その他の事業

売上高 **2,542** 百万円 (前年同期比 +9.7%)
 営業利益 **266** 百万円 (前年同期比 △8.1%)

当事業におきましては、飲食事業及び不動産賃貸が主なものであります。当中間期は、飲食事業が順調に推移したことより売上高は前年同期比9.7%増加したものの、販売費及び一般管理費の増加により営業利益は前年同期比8.1%の減少となりました。



連結決算概要

中間連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期中間 平成15年9月30日現在	第28期中間 平成15年3月31日現在	対前期末増減額
資産の部			
流動資産	49,542	53,201	△ 3,659
固定資産	84,381	78,736	5,644
有形固定資産	47,176	46,967	209
無形固定資産	7,615	7,709	△ 94
投資その他の資産	29,588	24,059	5,528
資産合計	133,923	131,938	1,984
負債の部			
流動負債	37,435	36,598	837
固定負債	39,179	38,482	697
負債合計	76,615	75,080	1,534
少数株主持分			
少数株主持分	941	1,301	△ 360
資本の部			
資本金	12,348	12,348	-
資本剰余金	24,001	24,000	0
利益剰余金	30,436	29,879	556
土地再評価差額金	△ 9,981	△ 10,005	23
その他有価証券評価差額金	191	△ 103	294
為替換算調整勘定	91	135	△ 43
自己株式	△ 721	△ 700	△ 20
資本合計	56,366	55,555	810
負債、少数株主持分及び資本合計	133,923	131,938	1,984

Point 流動資産

流動資産の減少3,659百万円は現金及び預金の減少4,124百万円が主なものであり、これは長期性預金への振替によるものであります。

Point 固定資産

固定資産の増加5,644百万円は長期性預金の増加6,300百万円が主なものであり、これは現金及び預金からの振替であります。

Point 流動負債

流動負債の増加837百万円は支払手形及び買掛金の増加532百万円と短期借入金の増加437百万円が主なものであります。

Point 固定負債

固定負債の増加697百万円は役員退職慰労引当金の増加3,001百万円と長期借入金の減少1,711百万円また、転換社債買入消却による減少651百万円が主なものであります。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期中間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	第28期中間 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	対前年同期比 (%)
営業収益	56,910	58,447	97.4
営業費用	50,081	52,523	95.4
割賦販売未実現利益	51	37	
営業利益	6,880	5,960	115.4
営業外収益	860	1,035	
営業外費用	1,348	1,536	
経常利益	6,392	5,460	117.1
特別利益	121	49	
特別損失	3,398	1,155	
税金等調整前中間純利益	3,115	4,354	71.5
法人税、住民税及び事業税	1,081	1,966	
法人税等調整額	706	14	
少数株主利益(又は△損失)	△ 70	48	
中間純利益	1,398	2,325	60.1

Point 営業損益

音楽ソフト事業の売上高が減少したことにより営業収益は前年同期比97.4%、1,536百万円の減収となりました。一方、営業費用の減少により営業利益においては、前年同期比115.4%、919百万円の増益となりました。

Point 中間純利益

役員退職慰労金の過年度負担額2,921百万円を一括して特別損失に計上したことにより、中間純利益は前年同期比60.1%、927百万円の減益となりました。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〈注記事項〉

	第29期中間	第28期中間
1. 有形固定資産の減価償却累計額	50,335百万円	49,856百万円
2. 保証債務	901百万円	1,192百万円
3. 担保提供資産	18,065百万円	22,154百万円
上記に対応する債務	14,681百万円	22,413百万円
4. 1株当たり中間純利益	77円75銭	127円75銭
5. 1株当たり株主資本	3,134円99銭	2,825円74銭

連結決算概要

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期中間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	第28期中間 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,918	8,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,348	△ 5,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,642	△ 2,978
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,740	20,019

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	第29期中間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	第28期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	24,000	24,000
資本剰余金中間期末(期末)残高	24,001	24,000
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	29,879	38,889
利益剰余金増加高		
中間(当期)純利益	1,398	6,938
利益剰余金減少高		
配当金	683	658
役員賞与	134	105
土地再評価差額金取崩額	23	15,184
計	841	15,948
利益剰余金中間期末(期末)残高	30,436	29,879

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体決算概要

中間単体貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期中間 平成15年9月30日現在	第28期 平成15年3月31日現在	対前期末増減額
資産の部			
流動資産	29,046	31,761	△ 2,714
固定資産	55,940	50,785	5,155
有形固定資産	20,776	20,228	548
無形固定資産	7,138	7,087	50
投資その他の資産	28,026	23,469	4,556
資産合計	84,986	82,546	2,440
負債の部			
流動負債	16,655	15,258	1,397
固定負債	21,530	21,744	△ 214
負債合計	38,185	37,002	1,182
資本の部			
資本金	12,348	12,348	—
資本剰余金	24,001	24,000	0
利益剰余金	20,965	19,999	966
土地再評価差額金	△ 9,981	△10,005	23
その他の有価証券評価差額金	188	△ 99	288
自己株式	△ 721	△ 700	△ 20
資本合計	46,801	45,543	1,257
負債・資本合計	84,986	82,546	2,440

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	第29期中間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	第28期中間 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	対前年同期比 (%)
営業収益	38,888	35,879	108.4
営業費用	34,173	32,546	105.0
割賦販売未実現利益	37	△ 2	
営業利益	4,752	3,330	142.7
営業外収益	771	724	
営業外費用	1,025	345	
経常利益	4,498	3,709	121.3
特別利益	121	33	
特別損失	1,455	1,299	
税引前中間純利益	3,164	2,444	129.5
法人税、住民税及び事業税	50	929	
法人税等調整額	1,404	77	
中間純利益	1,710	1,436	119.0
前期繰越利益	679	598	
利益準備金取崩額	—	485	
土地再評価差額金取崩額	△ 23	—	
中間未処分利益	2,365	2,519	

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注記事項)	第29期中間	第28期中間
1. 有形固定資産の減価償却累計額	23,911百万円	23,401百万円
2. 1株当たり中間純利益	95円09銭	78円92銭
3. 1株当たり株主資本	2,602円98銭	2,362円69銭

株式の状況

(平成15年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 59,560,000株

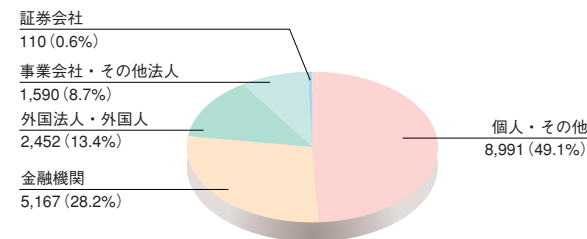
発行済株式の総数 18,310,370株

株主数 9,295名

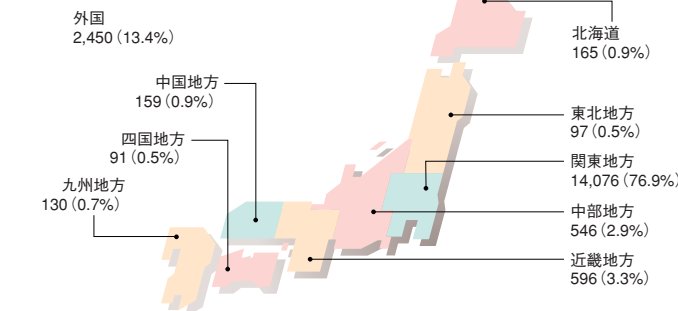
大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
保志忠彦	2,611	14.4
日本マスタートラスト信託銀行(株)	1,569	8.7
(有)ホシ・クリエート	1,156	6.4
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	1,102	6.1
保志忠郊	736	4.1
保志治紀	724	4.0
UFJ信託銀行(株)	483	2.7
バンクオブニューヨーク・ヨーロッパ リミテッドルクセンブルグ131800	385	2.1
資産管理サービス信託銀行(株)	360	2.0
米田龍佳	346	1.9

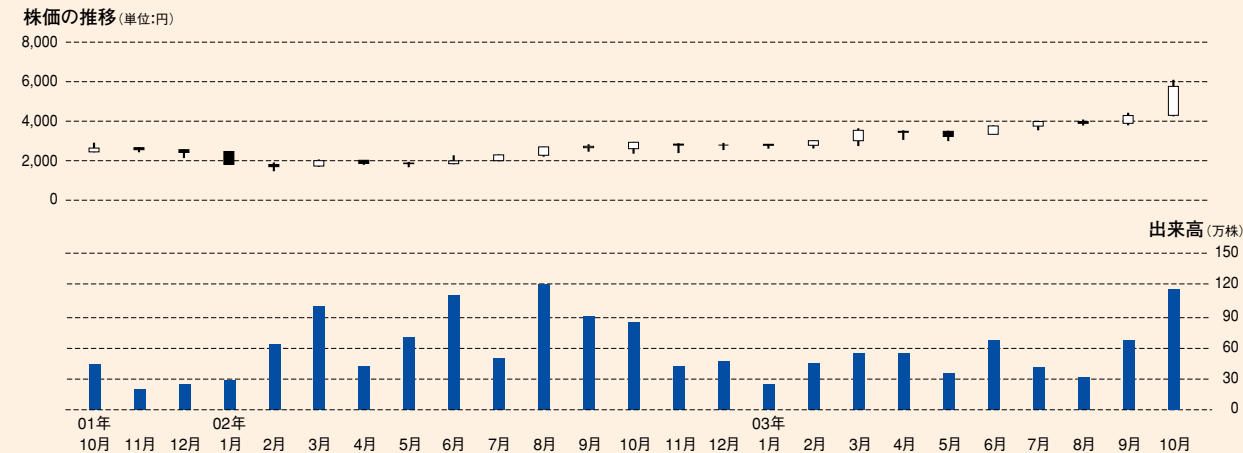
●所有者別株式分布 (単位:千株/構成比)



●地域別株式分布 (単位:千株/構成比)



■株価(月足)チャート



会社概要

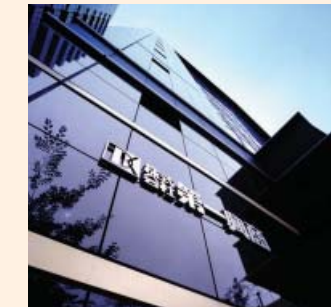
(平成15年9月30日現在)

商号 株式会社 第一興商
(英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所在地 〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26
TEL. (03)3280-2151 (大代表)
設立 1973年4月16日
資本金 12,348百万円
従業員数 当社 1,172名
グループ 2,785名
店頭登録 1995年9月19日
ホームページアドレス <http://www.dkkaraoke.co.jp/>

役員

(平成15年9月30日現在)

代表取締役会長 兼最高執行役員 保志忠彦
代表取締役社長 兼上席執行役員 米田龍佳
常務取締役 兼上席執行役員 興水慎一
常務取締役 兼上席執行役員 松川伸一
常務取締役 兼上席執行役員 三野浩
取締役 兼執行役員 林三郎
取締役 兼執行役員 緑川智博
取締役 兼執行役員 畑川英爾
常勤監査役 田村晴彦
常勤監査役 高瀬信行
監査役 高橋久美子
監査役 有近真澄
執行役員 有馬伸治
執行役員 檜原敬親
執行役員 鈴木康之
執行役員 山本弘恒
執行役員 山本裕治
執行役員 貞末俊一
執行役員 有馬修也
執行役員 熊谷達也
執行役員 三宅彰
執行役員 黒川憲太郎
執行役員 村井裕一
執行役員 和田康孝
執行役員 和田彰一



第一興商グループ 当社及び連結子会社 37社

(平成15年9月30日現在)

主な事業内容: 業務用カラオケ事業/カラオケルーム運営事業/
コンテンツ事業/音楽ソフト事業

■国内販売子会社 22社

(株)北海道第一興商 (株)台東第一興商 (株)第一興商近畿
(株)釧路第一興商 (株)城東第一興商 (株)京都第一興商
(株)道南第一興商 (株)第一興商販売 (株)ハリマ第一興商
(株)東北第一興商 (株)湘南第一興商 (株)京阪第一興商
(株)常磐第一興商 (株)長野第一興商 (株)姫路第一興商
(株)群馬第一興商 (株)新潟第一興商 (株)九州第一興商
(株)北関東第一興商 (株)東海第一興商
(株)城北第一興商 (株)コスモ第一興商

■その他国内子会社 7社

(株)ディーケーファイナンス (株)ファーストディストリビューション
(株)ガウスエンタテインメント (株)ディーケー音楽出版
日本クラウン(株)丸萩洋酒工業(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ

■海外子会社 8社

(株)韓国第一興商 D. K. Enterprises (Guam), Inc.
第一興商(上海)電子有限公司 信昇(香港)有限公司
上海綜藝音楽娛樂有限公司 第一興商(香港)有限公司
Saha Daiichi Kosho Co.,Ltd. Daiichi Kosho (Singapore) Pte Ltd.

(注) 1. Daiichi Kosho (Singapore) Pte Ltd. は休眠会社であります。
2. 上記のほか、平成15年10月1日付けで(株)トライエムを完全子会社といたしました。